

2021年2月9日

2021年（令和3）カーボンブラック需要見通し

2021年1月の内閣府月例経済報告によると、わが国の景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、設備投資の下げ止り、輸出の増加等、持ち直しの動きが見られている。各種政策の効果や経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに注視する必要がある。

一方、2021年の世界経済成長率見通しは、世界銀行が1月に4.0%と下方修正されたが、マイナス成長であった2020年から回復を見込んでいる。しかしながら、コロナウイルス感染の拡大、長期化による下振れリスクを含んでおり予断を許さない。

このような経済展望の中、カーボンブラック需要の大宗である自動車タイヤ需要について（一社）日本自動車タイヤ協会が、またゴム産業全体のゴム消費量について（一社）日本ゴム工業会が夫々2021年の需要見通しを公表した。

これによると、自動車生産台数は前年比7.3%増、国内タイヤ販売は同4.9%増と予想されている。一方、新ゴム消費量は自動車タイヤ・チューブで前年比5.3%増、一般ゴムで11.7%増、ゴム産業全体では6.6%増と予想している。

当協会では、これら（一社）日本自動車タイヤ協会と（一社）日本ゴム工業会の需要見通しをベースに、カーボンブラック輸出入の状況等を織り込んで、2021年のカーボンブラック需要の見通しを行った。その結果、カーボンブラック総需要は前年比5.1%増の652,420トンとなった。

なお、「需要見通しの指標」については添付資料の【表1】、「カーボンブラック需要見通し」については同【表2】、「輸入見通し」については同【表3】を夫々参照願う。

以上

【表1】 2021年需要見通しの指標

『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2019年実績		2020年実績見込み		2021年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
自動車生産 (千台)	9,684	99.5%	8,063	83.3%	8,654	107.3%
タイヤゴム消費 (トン)	1,065,590	100.6%	861,410	80.8%	907,070	105.3%
一般ゴム消費 (トン)	263,610	96.5%	218,990	83.1%	244,530	111.7%
新ゴム消費量計 (トン)	1,329,200	99.7%	1,080,400	81.3%	1,151,600	106.6%

【表2】 2021年カーボンブラック需要見通し

数量単位 ; トン、『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2019年		2020年見込み		2021年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
タイヤ	516,811	97.2%	409,170	79.2%	421,788	103.1%
一般ゴム	150,258	96.5%	124,824	83.1%	139,382	111.7%
ゴム用計	667,069	97.0%	533,994	80.1%	561,170	105.1%
非ゴム	48,493	96.6%	40,459	83.4%	42,450	104.9%
内需計	715,562	97.0%	574,453	80.3%	603,620	105.1%
輸出	52,921	91.3%	46,500	87.9%	48,800	104.9%
[内ゴム用計]	16,354	86.0%	13,672	83.6%	14,350	105.0%
総需要	768,483	96.6%	620,953	80.8%	652,420	105.1%
[内ゴム用計]	683,423	96.7%	547,666	80.1%	575,520	105.1%

【表3】 2021年カーボンブラック輸入動向

数量単位 ; トン、『見通し』の前年比は前年見込み比%

	2019年実績		2020年実績見込み		2021年見通し	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
ゴム用	142,289	96.7%	112,000	78.7%	118,000	105.4%
非ゴム用	14,450	109.3%	12,700	87.9%	13,300	104.7%
合計	156,739	97.8%	124,700	79.6%	131,300	105.3%

以上